

たくましく 心豊かな 地球市民	瞳かがやく 附属松本中の子ら すずかけの森	令和7年5月2日（金） 信州大学教育学部 附属松本中学校 学校だよりNo.2
-----------------------	---------------------------------	---



新緑がまぶしい季節となりました。附属中には、元気な生徒たちの声が溢れています。学び合いの中から生まれる明るい声、体育館に響き渡る歌声、朝や放課後に交わされる挨拶や、休み時間の友との会話。様々な声の中から笑顔が生まれ、学校全体が活気に満ちています。

4月22～24日にかけて、3年生は修学旅行で京都・大阪へ行ってきました。1日目は公共交通機関を使っの京都班別行動、2日目は大阪万博班別行動、3日目はクラスごと京都観光という、例年の日程とは大きく異なる内容でしたが、それぞれの場面で自主性と協調性を発揮し、貴重な体験を重ねることができました。

また、5月1日には校長講話が行われ、「夢」の実現について牧野校長先生よりお話をお聞きしました。以下は、その内容についてまとめたものです。



夢について語る ～牧野校長先生のお話より～

4月に学校の宝になった1年生。学校の柱になった2年生。学校の顔になった3年生。この4月はどうでしたか。

生徒会入会式がありました。部活動説明会がありました。避難訓練もありました。生徒会総会もありました。修学旅行もありました。

この4月、どんな成長をしましたか。

私は始業式で『「たくましく 心豊かな 地球市民」であれ』と言いました。今日は「たくましく」の部分について話をしたいと思います。たくましさの中には当然、体のたくましさがあります。そして、それに加えて私は「心のたくましさ」について話をしました。心のたくましさとは、簡単には夢をあきらめない「たくましさ」のことです。

しかし、そもそも皆さん自分の夢がありますか。夢があると言える人は手を挙げてください。もっと言えば、自分の夢を語れますか。自分の夢を語る人はいますか。発表してください。発表できた人はすごいですね。でも、発表できなくても、手を挙げられなくても、「こうなりたい」とか「こんなことができるようになりたい」というのだって夢です。夢の大きさではなく、自分が大切に思っていることがあることが重要だと思います。

この人を知っていますか。吉田松陰と言います。この方は、幕末に松下村塾という塾を作った人で、塾生には、伊藤博文、山縣有朋、高杉晋作、木戸孝允だとか、明治維新を起こした重要な人たちがたくさんいます。そんなすごい生徒たちを育てた吉田松陰はこんな言葉を残しています。〇〇の中には何が入ると思いますか。



「夢なき者に 理想なし」 「理想なき者に 計画なし」
「計画なき者に 実行なし」 「実行なき者に 成功なし」
「故に夢なき者に 〇〇なし」

答えは「成功」です。「夢なき者に 成功なし」なんだね。

そうだなって、思いませんか。だって、将来サッカー選手になりたいって思った人のなかから、才能や運、努力をした人の一部がＪリーガーになっていると思います。どうでしょうか。逆に、全くＪリーガーになる気がない人が、Ｊリーガーになった人はいるのでしょうか。

夢をもて

- ・ パティシエ
- ・ 世界で活躍したい
- ・ 人を助ける仕事をしたい 等

夢には勇氣

- ・ 夢には責任がある
- ・ 夢を笑う奴がいる

夢から逃げるな

- ・ 人生は1回
- ・ 夢は成長させる
- ・ 夢への挑戦は将来の糧になる

大人になって夢を叶えられる人なんて、本当に一部の人しかいないと思います。だからこそ、夢を叶えたいなら「夢をもて」と言いたい。例えば、パティシエになりたい。具体的でなくても、世界で活躍したいとか、人を助ける仕事をしたいとか。どれもみんな素敵だと思います。ちなみに、小学校の頃の夢と今の夢が違っててもよいと思います。そして、今後夢が変わっても当然よいと思います。

しかし、夢をもつには勇氣がいますね。夢を語ると責任が発生します。「世界で活躍したいとか言って、英語のテストこの点数でいいの？」とか言われます。「サッカー選手になりたいとか言って、練習さぼっていいの？」とも言われます。そして、夢に向かって努力をしなくてははいけなくなります。

それだけじゃない。あなたの夢を笑う人も出てきます。「あいつ医者になりたいんだって。絶対無理だよ」とか、「あいつあれで、野球選手になりたいとか言ってんの、笑っちゃう」とか、夢を語ると厳しい目にもさらされます。

だから、夢を語るって、本当に勇氣がいると思います。

でもね、自分の人生だよ。周りを気にして自分の夢をあきらめていいのかな。

一生に一回の人生だよ。夢に向かって努力しなくて、大人になって挑戦しなかったことを後悔しないかな。

先生は言いたい、「夢から逃げるな」と。仮に夢が破れても、決して無駄にはならないと思います。私は夢に挑戦した経験は絶対、自分の今後の成長につながっていると思うからです。

みんなも多くの人が知っている夢を叶えた人、「大谷翔平」選手の話をして。

これは、大谷翔平選手が、高校時代に夢を叶えるために書いた曼荼羅チャートです。

高校時点での大谷翔平選手の夢は「8球団から、ドラフト1位で指名されることです」。野球やっている人ならわかる、大きい夢だね。この夢を叶えるために、理想として「コントロール」「キレ」「球速160キロ」「変化球」「運」「人間性」「メンタル」「体づくり」の8つの理想を立てています。そして、この8つの理想を実現するためにそれぞれに計画を立てています。

球速160キロを実現する計画として、「軸で回る」「下肢の強化」「体重増加」「体幹教化」「可動域」「ライナーキャッチボール」「ピッチングを増やす」「肩回りの強化」等を計画しています。

「運」をよくする計画。気になるよね。「あいさつ」「ゴミ拾い」「部屋掃除」「審判さんへの態度」「本を読む」「応援される人になる」「プラス思考」「道具を大切に使う」。何かわかる気がしますね。そして、大谷選手は、夢をもち、理想をもち、計画を立て、それを実行したから、今の大谷翔平選手があるわけですね。

ぜひ、皆さんには、自分の夢をもってほしいと思います。決して大きい夢である必要はないです。「こうなりたい」「こんなことができるようになりたい」というものでもよいですから。

吉田松陰の言葉を大切に、夢を夢で終わらせないために、1年生には、理想までもってほしい。2年生には、理想で終わらせないで計画を立ててほしい。3年生には、実行してほしいと思っています。

今回は夢の大切さについて話をしました。皆さんの今後の活動に期待しています。

ステージ袖幕が新しくなりました



令和6年度卒業生より、卒業記念品として体育館ステージ袖幕を新しくしていただきました。

大切に使用させていただきます。ありがとうございました。